



原田さとみの
フェアトレード&
エシカル・ファッショショーンショー

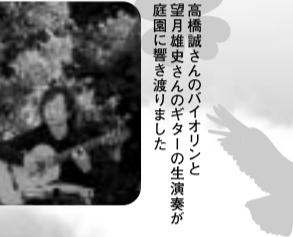
自然環境に負担をかけないオーガニック素材やリサイクル素材を使用するとともに、小規模生産者や手工芸職人に仕事を生み、地域の伝統・技術を継承。そして、先進国のモダンなデザイン力でクリエイトされるフェアトレード&エシカルファッショーン。緑あふれる芝生広場で、原田さとみさんがプロデュースする「エシカル・ペネローブ」がそのショーを繰り広げました。

アデックさんの
ジェンベの
音色によ
るアフリ

環境保全や社会貢献にもつながる
洗練ファッショーンが観客を魅了

カンミュージックで幕開けの後、ヨーロピアン・ジブシー・ジャズの演奏にのってモデルが次々に登場。エキゾチックなアメリカ伝統の布を使用しながらもハイセンスなデザインのワンピース。自然素材・天然染料で作られた柔らかく美しいラインで心地よさそうなヨガウエア。やさしさと共に洗練が感じられるファッショーンの数々に、会場には感嘆の声がもれました。

ラストは原田さんのメッセージで締めくされました。
「自分の着ている服が、どのように作られ、どうやってここに来たのか考えてみませんか？ 作る人も売る人も買う人も、みんなが幸せになるのがフェアトレード&エシカル・ファッショーンです。選んだものが、オシャレ心を満たしてくれるだけでなく、環境保全や社会貢献につながる。それってカッコいいと思いませんか？」



原田さとみさん



すべての命の共生を“エシカル＝思いやり”から見直す1日

昨年10月に名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)から1年。

開催地である熱田区白鳥エリアの2つの会場で10月16日、1周年の記念イベントが行われました。

そのひとつ白鳥庭園では、「エシカル」というテーマを掲げて
音楽やトーク、ファッショーンショーなどの幅広い催しを展開。

親子連れなど計3,348人が来場し、楽しみながら生物多様性やエシカルに触れました。

その内容を一部紹介します。

※エシカル(ethical)：「倫理的な」の意味だが、近年は「地球環境や社会貢献への配慮や思いやり」を表す言葉として使われている。

エシカル・マーケット＆ライブ



トークショーからマーケット、ライブにゲームまで
エシカルな思いやりと楽しさあふれる催しが集合

エシカルな商品、フェアトレードのコーヒーヒー・紅茶、自然農法にこだわったトマトの店までが並ぶマーケットが登場。CHIEN KITCHENの店では、トマトショウで紹介された「あつた白鳥はちみつ」を使ったたらやきとセージをこめた曲を奏でるポップスユニット「ainoonops」(あいのんぱす)のライブも行われました。

その道の通人が語り合う、和と茶の世界とエシカル

「自分以外の他を思いやるという意味を持つエシカルは、古くから磨きあげられてきた日本的心、お茶の世界と通じるものがありますね。とりわけ茶道のわび心は富むむさぼらない心とも言え、それがエシカルではないでしょうか？」(嶋矢さん)



風流な茶室で行われた対談で
和の心に気づくエシカルを発見

エシカル対談

みんなの力で想像を超えた広がりに
これからも続けたいエシカル・デー



COP10の開催により、人・生物・植物の“いきもの”としての命のつながりとともに、国・地域・街の“ひとつ”としての心のつながりの尊さを感じました。その記念イベントを、エシカルをテーマに開催したいという提案を白鳥庭園さんが賛同して下さったことで、この素晴らしい場所で、素晴らしい日を作ることができました。エシカルは、思いやり。地球・自然・環境との調和・融合・共生という生き方であり、暮らし方。生物多様性と通じ合う概念です。その概念に基づいたいろいろな要素に楽しさを盛り込むことで、また、たくさんの人が関わることで、広がりは想像を超えるものになりました。この日をエシカル・デーとして、来年もその先もずっと続けていければと思っています。地球上の様々な問題がエシカルな思いやりの心で解決に向かうことを願っています。

タレント／エシカル・ペネローブ株式会社 代表取締役 原田 さとみ
(財)地球環境財団エシカルJAPAN中部地区代表

世界の流れを変えるべき今、そのきっかけになれば

これまで、エコという言葉の下で経済主義がはびこり、エシカルという言葉もマーケティング戦略として利用されてきました。しかし、エシカルはもっと大事な理念。私自身はそれを「良心的な」と訳しています。すでに物質文明の賞味期限は切れ、それにしがみついでいたら地球も人類も滅んでいきます。私たちの豊かな生活は地球の恵みのうえに、その一方にある貧しい人々の犠牲のうえに成り立っており、そのバランスを見直す必要に迫られています。世界の流れを変えるべき時、文明シフトを急ぐべき時を迎えてます。そのきっかけになるのがこうした機会。難しく考えなくとも、楽しみながら「エシカルとは何だろう?」「なぜ必要なのだろう?」と、思うだけでいいのです。そこから未来はつながっていくと思います。COP10開催の地、名古屋で、その意味を風化させないためにも、こうした取り組みをぜひ継続してほしいと願います。

(財)地球環境財団エシカルJAPAN 理事長 嶋矢 志郎

エシカルをキーに集まつた多彩な要素にこれからの可能性

名古屋学院大学は、「みつばち」を切り口にして、生物多様性やエシカルについて考え、その成果を広く伝えようと活動しています。今回、エシカルをキーに、これだけの要素、人が集まり、つながることができたことを本当にうれしく思います。改めて、これから可能性の大さを感じました。11月にはまた、この白鳥庭園で「みつばちプロジェクト」のイベントがありますので、ぜひ遊びにきてください。

名古屋学院大学 経済学部教授 水野 晶夫



原田さとみさん。3人が、花粉を運ぶことで生物多様性に貢献するみつばちについて、司会のラジオDJ・空木マイカさんの進行で語りました。

後半はプロジェクトの学生チームも参加し、採蜜を公開。はちみつがたっぷりたまつた巣ワクを遠心分離器にかけて回すと、トロリとしたる黄金のはちみつ。その様子を近くで見ようと、ステージの周りには人だかりができました。

続いてみつばちに関するクイズを楽しみ、採れたてのはちみつの味見もしました。

空木マイカさん



はちみつが詰まった巣ワクの重さ体験も。意外に重い?

○主催／白鳥庭園・熱田神宮公園 指定管理者 岩間造園・トーエネックグループ、財団法人 地球環境財団エシカルJAPAN、名古屋学院大学総合研究所都市政策プロジェクト研究

○協賛／株式会社トーエネック、三井不動産株式会社、エシカル・ペネローブ株式会社、特定非営利活動法人(内閣府認証)市民まちづくり風の会

○協力／アースディ尾張木曽川実行委員会、NPO法人志民連いのみや、JICA中部なごや地球ひろば、シティリバネットワーク愛知、東海工業専門学校 金山校、名古屋外国語大学、

フェアトレードタウンなごや推進委員会、有限会社アートスペースプロジェクト、緑流生活、笑いと健康大学

○後援／愛知県、名古屋市、公益社団法人 名古屋青年会議所、朝日新聞社